

第26回 館林手筒花火大会

会場：群馬県館林市 館林城ゆめひろば

順番	花火種類、本数、回数	時刻の目安
打1	打上花火-1	7:35 PM
1	お披露目手筒花火 5斤×1本	7:40 PM
2	手筒花火3斤 2本同時揚げ×3回	7:43 PM
3	扇形歩行放揚15本同時揚げ 3斤×2本 1斤×13本	7:50 PM
4	手筒花火3斤 2本同時揚げ×3回	8:00 PM
5	手筒花火5斤 3本同時揚げ×1回	8:05 PM
打2	打上花火-2	8:10 PM
6	片手手筒1斤 南-大会本部側 7本同時揚げ×1回	8:20 PM
7	片手手筒1斤 西-市役所側 7本同時揚げ×1回	8:23 PM
8	片手手筒1斤 北-女子高側 7本同時揚げ×1回	8:28 PM
9	手筒花火3斤 2本同時揚げ×3回	8:30 PM
10	1斤と5斤の一斉放揚 1斤×12本、5斤×2本	8:40 PM
1斤46本、3斤20本、5斤6本 計72本		
打3	打上花火-3	8:45 PM

令和7年7月26日(土) 小雨決行 雷雨中断 荒天中止

気象警報が館林地方に出された場合、花火大会に従事する警察、消防、市役所の職員は、災害予防の業務に専念するため大会は開催できません。

▶ 18時までのご入場をおすすめいたします。ゆったりご覧になれます。

【手筒花火とは】

長さ約1メートル、直径約20センチほどの竹筒を荒縄で覆った筒に黒色火薬を詰めたものを、片腕で抱え、いっぽうの腕で支えながら10メートルほどの火柱を真上に吹き上げる花火。

この状態を放揚(ほうよう)といい、400年の歴史に育まれた三河地方の香りを感じさせる伝統文化。

消火寸前には、底から抜ける跳ね(はね)と呼ばれる地面への炎噴出が特徴。

【手筒花火の噴出時間】

1斤	点火からハネ：約15秒～20秒
3斤5斤	点火からハネ：約27秒～30秒
3斤5斤	直立までは：約12秒～16秒

【館林での始まり】

徳川四天王で知られる館林藩初代藩主榊原康政(さかきばら やすまさ)が、天文17年(1548年)榊原長政の二男として三河国上野郷(現在の愛知県豊田市)に生まれた縁から、平成11年4月館林つつじまつりのイベントとして開催した。

その後、地元の有志により館林煙硝会(小林但弥会長)を設立、手筒花火を今日に伝承している。

【手筒花火の火薬内容量と総重量】

1斤(きん)	0.8キロ：約2キロ
3斤(きん)	2.4キロ：約9キロ
5斤(きん)	4.0キロ：約12キロ

制作：館林煙硝会